

## 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

### 産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20UC
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: アグリ・バイオ
研究開発課題名	: 品質の揃ったスフェロイドを低コスト高効率生産する培養足場の実用化研究
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 楠 正暢(近畿大学)

#### 評価結果の総合所見

本課題は、特殊な装置、手技を必要とせずに寸法の揃ったスフェロイドを高い再現性で作製する技術を確立することを目指すものである。

目標の一部が達成できなかったものの、今後の取り組み次第では企業との共同研究につながる可能性がある。

2次元培養から均一なスフェロイドを作成する技術の確立に成功しており、サイズを制御して作成することが出来ている。また、巨大なスフェロイドを作成できることも本技術の優位性である。

スフェロイドの機能性確認まで到達していないことは残念である。スフェロイドについては競合も多いのでオルガノイドからオルガンへの展開を見据えた実用化研究が重要である。

以上